

# PV一体型の樹脂屋根材

## エフウエイブ 薄く軽量、高耐久

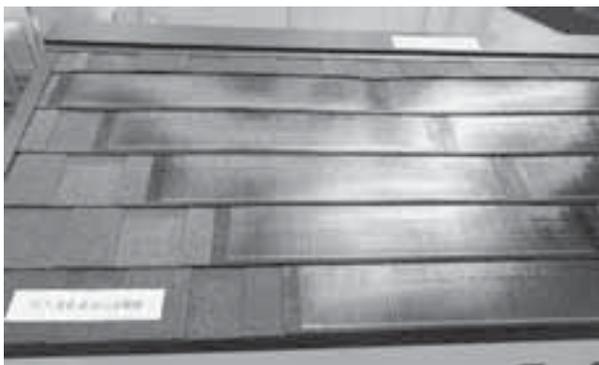
エフウエイブ（東京都千代田区、大谷茂弘社長）は、太陽電池（PV）一体型樹脂屋根材を日本市場に投入する。薄型軽量で高耐久性の「新樹脂屋根材」とフィルム型アモルファス太陽電池セル「FWAVE」を組み合わせ、2018年秋にも熊本工場（熊本県南関町）で生産する予定。19年以降には集熱ユニットと組み合わせた空気式太陽熱利用システムを立ち上げ、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）に着目する住宅メーカーや工務店への訴求を強める。



大谷社長

エフウエイブはニュー  
ジラランドの多機能屋根  
材メーカー、シニアテッ

クの子会社。14年に富士  
電機から太陽電池セル事  
業を取得し、熊本工場を  
引き継いだ。クリーンル  
ームにおいてロール・ト  
ウ・ロール方式で生産し  
ている。同社は建材や太  
陽電池セルの製造販売、  
エコハウスおよびゼロエ



ZEH実現に貢  
献する一体型屋  
根材

ミッションハウス向け太  
陽光・熱複合システムの  
提案を主力事業とする。  
社名の由来であるFW  
AVE太陽電池セルは非

成する各層の穴をつなげ  
た「SCAF」という独  
自のセル構造によって、  
セルの電極配線を一括し  
た接続を可能にした。ま

たタンDEM構造により、  
幅広い波長のスペクトル  
を吸収することができ、  
より多く発電できる。封  
止材を工夫することで酸  
素や水への耐性を高め  
た。  
太陽電池セルの変換効  
率は8%ほどだが、独自

の新樹脂屋根材を組み合  
わせることで付加価値を  
創出する考え。新樹脂屋  
根材は高分子合成樹脂で  
作られる。非常に軽量で、  
重さはカラーベストの約  
半分、陶器平板瓦の4分  
の1以下。紫外線や温度  
変化、色あせ、風雨への  
耐久性に優れる。意匠性に  
富んだデザインも施せ  
る。

大谷社長は「新樹脂屋  
根材の最大のメリットは  
遮熱・断熱機能が高めら  
れることにある」と強調  
する。空気を暖めること  
もできる。この特徴を生  
かし空気式太陽熱利用シ  
ステムを開発している。  
集熱ユニットを利用して  
熱を室内に取り込み、暖

房代わりにしたリ湯を沸  
かしたりできる。冷たい  
空気にして飛ばすことも  
可能。太陽電池セルと組  
み合わせることでエネル  
ギーへの変換効率を大幅  
に増やせる。

まず新樹脂屋根材を先  
行して日本で販売する。

その後、太陽電池セルと  
の一体化製品を熊本で生  
産する方針。ZEHを実  
現するシステムとして、  
住宅メーカーへの訴求を  
強める。また、地方の工  
務店に販売ネットワーク  
を構築することで日本全  
国への浸透を図る。